年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度　　教科　水産　　科目 漁業

教　科：水産　　科　目：漁業　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　B　組

教科担当者：片桐　康佑

使用教科書：（ 漁業　文部科学省　　）

教科　水産　　の目標：

【知識及び技能】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　漁業　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漁業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	漁業に関する課題を発見し、漁業生産に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	漁業における生産性の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1章　漁業と海洋環境 【知識及び技能】 漁業の概要や海洋環境の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁業や海洋環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 食料の安定供給や海洋環境を通した持続可能で発展的な水産業を目指して自ら学び、漁業生産に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 1節　漁業の役割と変遷 1　漁業の役割 2　漁業の変遷 3　漁業をめぐる課題と展望 2節　我が国の漁業と漁船の概要 1　漁業の種類 2　漁船の概要 3節　海洋環境と海の生態系 1　海洋環境の基礎知識 2　水塊と潮境 3　海の生態系 4　プランクトンと食物連鎖 5　海の生物生産力 4節　漁場と漁場調査 1　漁場の条件 2　漁場の調整 3　漁場の選定と調査方法 5節　海洋環境の保全 1　海洋環境保全の意義 2　漁場環境の変化 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 漁業の概要や海洋環境の基本的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 漁業や海洋環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食料の安定供給や海洋環境を通した持続可能で発展的な水産業を目指して自ら学び、漁業生産に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	2章　水産資源と漁業管理 【知識及び技能】 主な水産生物の生態と水産資源及び漁業管理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水産資源に関する課題を発見し、漁業管理に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産資源について自ら学び、漁業管理に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 1節　水産生物の生態 2節　水産資源 1　水産資源の特性 2　水産資源の動向 3　水産資源量の調べ方 4　適正漁獲量と資源の評価 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 主な水産生物の生態と水産資源及び漁業管理について理解している。 【思考・判断・表現】 水産資源に関する課題を発見し、漁業管理に着目して合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産資源について自ら学び、漁業管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	3章　漁業の技術 【知識及び技能】 漁業の技術について理解するとともに、漁具製作に必要な技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 漁業の技術に関する課題を発見し、主な漁業・資源増殖における操業方法や漁具の構成と材料に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁業の技術について自ら学び、漁船漁業における機械・計器類の取り扱い方法について主体的かつ協働的に取り組む。	1節　漁具と漁法 1　水産生物の生態と行動 2　動物の行動と感覚特性 3　漁具と漁法の分類 2節　主な漁業と資源増殖 1　主な漁業 2　資源増殖 3節　漁具の構成と材料 1　漁網・ロープの原料 2　網糸・釣糸・ロープの構造 3　網糸・釣糸・ロープの太さと重量 4　網糸・釣糸・ロープの性質 5　浮子と沈子 6　漁具の構成と制作 4節　漁業機械、計測機器、冷凍機械 1　漁業機械 2　計測機器 3　冷凍機械 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 漁業の技術について理解するとともに、漁具製作に必要な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 漁業の技術に関する課題を発見し、主な漁業・資源増殖における操業方法や漁具の構成と材料に着目して合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 漁業の技術について自ら学び、漁船漁業における機械・計器類の取り扱い方法について主体的かつ協働的に取り組んでいる。。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	4章　漁業の基盤 【知識及び技能】 漁業生産の基盤について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁業生産の基盤に関する課題を発見し、漁業をめぐる国際環境や品質管理に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁業生産の基盤について自ら学び、持続可能で発展的な漁業の振興や漁業生産活動に主体的かつ協働的に取り組む。	1節　漁業制度と法規 1　漁業に関連する法規 2　漁業制度 3　漁場管理団体としての漁業協同組合 4　漁船関係法規 5　水産・海洋施策の総合的かつ計画的な推進のための法律 6　漁港漁場整備法 2節　漁業をめぐる国際環境 1　漁業をめぐる世界の動き 2　水産企業の海外投資 3　海外協力 3節　漁業と情報 1　漁業に利用する情報 2　海況と漁況 3　資源管理及び漁船の運航に関する情報 4　漁業におけるICTの活用 4節　貿易と流通 1　水産物の貿易 2　水産物の流通 5節　品質管理と安全管理 1　食品の品質管理 2　食品の安全管理 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 漁業生産の基盤について理解している。 【思考・判断・表現】 漁業生産の基盤に関する課題を発見し、漁業をめぐる国際環境や品質管理に着目して合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 漁業生産の基盤について自ら学び、持続可能で発展的な漁業の振興や漁業生産活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
3学期	5章　漁業の経営 【知識及び技能】 漁業経営について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁業経営に関する課題を発見し、漁業経営の効率化に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁業経営について自ら学び、持続可能な水産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	1節　漁業経営の仕組み 1　漁業経営の意義 2　漁業経営の種類と分類 3　漁業組織の特色 2節　経営組織と管理・運営 1　地域の環境条件と経営組織 2　漁業協同組合の漁業自営 3　漁業経営と簿記 3節　漁業経営の効率化 1　漁業経営管理と効率化 2　新たな漁業経営の社会的・経済的意義 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 漁業経営について理解している。 【思考・判断・表現】 漁業経営に関する課題を発見し、漁業経営の効率化に着目して合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 漁業経営について自ら学び、持続可能な水産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 70